

# 課題解決型授業(アクティブ・ラーニング)に関する調査研究プロジェクト

## 第7回 ALPS 合同研修会(実験授業・研究協議)

- 1 日時 平成27年12月15日(火) 13時45分～16時30分
- 2 場所 旭川市立朝日小学校3年1組教室・図書室
- 3 参加者 上川教育局指導主事, 旭川市教育委員会指導主事  
北海道立教育研究所から2名  
北海道教育大学旭川校相馬教授, 笠井教授  
ALPS(アクティブ・ラーニング)地域連携協力校教諭  
旭川市立朝日小学校教員  
他一般参加者 合計52名

### 4 内容

#### (1) 13:45～14:30 実験授業 3年1組算数「三角形」

##### ①導入場面の工夫, 課題の在り方について

前時までに学んだ, コンパスを使った作図方法のほかにも二等辺三角形をかくことができると示すことで, 「なぜだろう」「解決したい」という意識を高めることができると考えた。また, 問題を2つ提示し, 円の半径や折り紙を使って二等辺三角形を作る活動を通して「どうして二等辺三角形ができるのか」という共通した課題に取り組ませ, 二等辺三角形の性質を見いだすことができるように工夫した。

##### ②主体的・協働的な学習展開の工夫について

ペア学習で自分の考えを可視化し, 友達と交流しやすくするためにホワイトボードを活用した。ペア学習を取り入れることで, 一人一人が自分の考えを伝える機会をもつことができ, 個の主体的な学びにつながると考えた。また, ペア学習の目的を事前に子どもたちに確認することで, 目的意識を明確にして, 自分の意見と友達の意見を比べて, より分かりやすい説明について考えることができるようにした。

##### ③まとめ・振り返り場面の在り方について

本時の学びで何が分かったのかを実感させるために, 板書のキーワードを使って, 自分の言葉でまとめられるように取り組ませている。自分一人でまとめられない子のために, 教師がまとめの例を板書に作成し, 写させることをくり返すことで, 徐々に自分の力でまとめられることを目標に取り組んでいる。また, 本時の学習を活用しないとできない確認・発展問題に取り組ませることにより, 学習の定着度を確かめられるようにした。

【本時について】既習事項を活用しながら, 児童が主体的・協働的に学習していく姿がより一層鮮明になる時間は, 9時間扱いの単元の指導計画の中で, 5時間目「(ねらい)二等辺三角形の辺の相等関係についての理解を深める」(既習事項を使って課題が解決できる学習内容)であると考え, 本時を実験授業として公開した。

#### (2) 15:00～16:30 研究協議 (図書室)

○90分間の協議時間が短く感じられる程白熱した協議となりました。授業づくりや期待する子どもの姿に対する思いや, 算数科の問題解決的な学びや算数的活動などからめながら, 子どもたちの課題意識を大切に授業について, 様々な意見が交わされました。

#### お知らせ～「地域推進連携会議・調査研究報告会」

日時 平成28年2月10日(水)13:00～16:20  
会場 上川教育研修センター講堂  
内容 検討中(研究発表+シンポジウム?)  
講師 愛知教育大学 野田 敦敬教授 来旭!

